

船三代と横浜港 2004(平成16)年 水彩
黒船、天洋丸級客船、クイーンエリザベス2と、横浜港の歴史の中で重要な船を描く。それぞれの背景には象の鼻、完成当時の大さん橋、客船ターミナルとして改装された後の大さん橋が描かれる



三つの塔 K、Q、J 2004(平成16)年 水彩
横浜港のシンボルとして親しまれている三塔を描く。左から神奈川県庁(King)、横浜開港記念会館(Jack)、横浜税関(Queen)



大さん橋と飛鳥 2004(平成16)年 水彩
2002(平成14)年に完成した大さん橋国際客船ターミナル越しに、客船飛鳥、赤レンガ倉庫、その向こうにみなとみらい21が見える。新しい横浜港を象徴する風景が描かれる

みなとみらい線パブリックアートと柳原良平

2004(平成16)年に開業したみなとみらい線各駅にはそれぞれコンセプトの違うパブリックアートで彩られています。日本大通り駅の陶板レリーフは柳原良平が原画を担当し、信楽焼で製作されています。



みなとみらい 2005(平成17)年 切絵
みなとみらいの高層ビル群を背に出港する客船にっぽん丸。現代の横浜港らしい風景を柳原は繰り返し描いた

柳原良平は1964(昭和39)年、32歳の時に港の見える横浜・山手に転居し、横浜港のさまざまな表情を描き続けました。毎日多くの船が出入りし、開港以来160年の歴史を持つ横浜港は柳原にとって「絵になる港」でした。今回、新たに当館に寄託された、みなとみらい線日本大通り駅の陶板レリーフの原画など、横浜港の今昔を描いた作品を展示します。柳原が愛した横浜港の風景をお楽しみください。

横浜港 今昔



オープン2周年記念特集展示

柳原良平アートミュージアム2周年

オリジナルデザイン

みなとみらい線一日乗車券

発売期間=2020年7月1日[水]—9月27日[日]
発売価格=大人460円 ※小児券は発売いたしません
発売場所=みなとみらい線各駅の駅事務室
有効期限=2020年7月1日[水]—12月31日[木]までのうち1日限り有効
一日乗車券のご提示で、博物館入館割引&ステッカープレゼントがあります(7月1日(水)—12月27日(日)まで)

これからの柳原良平アートミュージアム特集展示

星空の航海(仮)

9月29日[火]—12月20日[日]
柳原は子どもの頃から星が好きで、個展のテーマにも選んでいます。広々とした星空の下を進む船を描いた作品を展示します

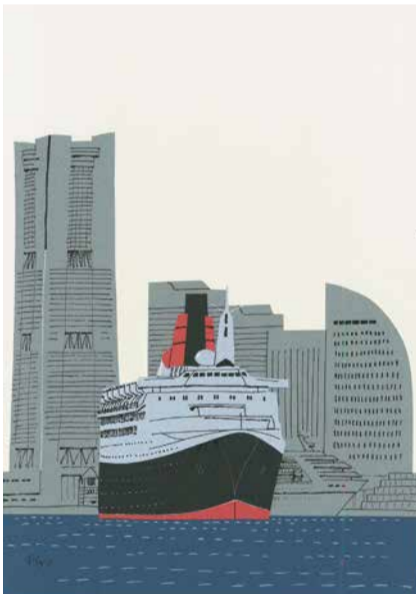
**企画展「日本の練習船～海の上の学校」運動展示
日本の練習帆船(仮)**

12月22日[火]—2021年3月21日[日]
企画展にあわせ、帆船日本丸を中心に日本の練習帆船を描いた作品を展示します

次回の横浜みなと博物館の展覧会

**企画展
「日本の練習船～海の上の学校」
2021年2月27日[土]—5月9日[日]**

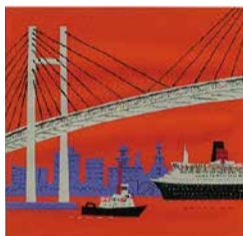
日本の経済・社会を支える海運、水産業等を担う人材を育成するための多様な練習船とそこで行われている実習訓練について紹介します



みなとみらいのQE2(仮題) 年代不明 切絵
みなとみらいを背景に、出港していくクイーンエリザベス2を逆光で描く。柳原は1969(昭和44)年に同船に乗船して以来、「絵に描きたくなる船」として度々題材にした



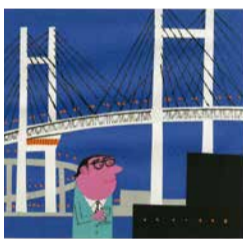
赤レンガ倉庫 1980年代 切絵
赤レンガ倉庫の前に描かれるのは柳原本人か。背景には上屋、貨物船のデリックが見える。赤レンガ倉庫のある新港ふ頭が貨物を取り扱っていた時代を描いた作品



横浜ベイブリッジの夕景
1990年代前半 切絵



大正初期の大さん橋 1989(平成元年)年 油彩
4隻の船が停泊し、混み合う大さん橋を陸側から描く。大正初期の大さん橋は、横浜港の玄関口として、多くの船が出入りした



横浜ベイブリッジの夜景
1990年代前半 切絵



航海訓練所練習船隊大さん橋に集結!



昭和40年頃のわが仕事場からの眺め

「みなと横浜片思い」 カット用ペン画 1983(昭和58)年

エッセイ集「みなと横浜片思い」(柳原良平著 至誠堂 1983年)では、「港内遊覧船」、「横浜海洋博物館」などのテーマで柳原が深くかかわった横浜の街づくりについての思いを語った



新港ふ頭四号上屋 2009(平成21)年 水彩
新港ふ頭四号岸壁から出航する客船天洋丸と2階旅客待合室の内部を描く。季刊誌「横浜」2009年春号の連載「横浜風景」のカット。柳原は文中で四号上屋への思いを語っている



●JR根岸線、市営地下鉄ブルーライン桜木町駅下車徒歩5分
●みなとみらい線みなとみらい駅・馬車道駅下車徒歩5分

横浜みなと博物館

〒220-0012 横浜西区みなとみらい2-1-1
帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体
TEL 045-221-0280(代表) FAX 045-221-0277
<https://www.nippon-maru.or.jp/>

新型コロナウイルス感染拡大防止などのため、予定等が変更になることがあります。最新情報は当施設のWebサイトをご確認ください。